

# 桐生西ロータークラブ週報

2012-13年度 RIテーマ

田中作次 2012-13年度 国際ローター会長 **Peace through Service**



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30  
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス  
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777  
 E-mail kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi  
 会長 東郷庸史 広報活動委員長 奥村 勉 広報活動委員 岡田善孝・櫻井和彦  
 幹事 坪井良行 クラブ会報編集担当 島嶋隆一 根本正則 (原簿管理・IT・CIC担当)

No. 1884

2013年2月22日発行

## 第2002例会 (2013・2・15) 報告

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 点 鐘                | 6. 食 事                 |
| 2. ローターソング (それこそローター) | 7. 委員会報告               |
| 3. 来訪者紹介              | 8. 平和フォーラム             |
| 4. 会長報告               | 9. SAAプレゼント抽選          |
| 5. 幹事報告               | 10. 点 鐘 例会終了後例会運営委員会開催 |

### ◆ビジター紹介

シャンティ国際ボランティア会  
 海外事業課アフガニスタン事業担当 萩原宏子様

### ◆会長報告 東郷会長

1. 姉妹クラブのフィリピン・マンダロンRCの創立50周年記念式典ならびにホセ・リザール大学に新コースを開設するプロジェクトが完了し、その開校式に出席するため、阿左美会長エレクト、中野バスト会長、下井田国際奉仕・友情交換担当委員、そして小野満会員の4名が、20日から24日まで、クラブを代表して、訪問して下さることになっております。
2. 20日(水)午後6時30分から、トラットリア・バルボンにて、桐生5RC会長幹事会が開催されます。主に群馬大学工学部留学生交流会について協議します。

### ◆幹事報告 坪井幹事

- ◇世界自閉症啓発デーinぐんまのリーフレットとポスターが届いております。啓発活動の一環として皆様の事業所等にポスター掲示のご協力をお願い致します。
- ◇本日例会終了後、例会運営委員会を行います。
- ◇次例会は桐生赤城RCとの合同夜間例会です。(点鐘PM6:30、会場 桐生プリオパレス)
- ◇ハイライトよねやま155が配信されました。(各テーブルに配布)
- ◇例会変更のお知らせ 該当なし
- ◇クラブ会報が到着しています  
 桐生南RC 1/29,2/6 桐生中央RC 1/31 桐生赤城RC 2/5  
 栲尾RC 11/13,11/20,11/29,12/11,12/18,1/8,1/15,1/22,1/29

### ◆食事メニュー 1200キロカロリー

メカジキのおろしソース、豚肉のトマト煮、白飯、香の物、ズワイガニとレンズ豆のスープ、きゅうりと玉子のサラダ

### ◆委員会報告

#### □クラブ運営委員会

#### ◇出席報告 石川出席担当

総数50名 (免除者9名のうち5名出席の為4名を除く)  
 出席率対象者46名 出席率対象者出席人数37名  
 欠席者9名 (内前メイク1名) 出席率82.61%  
 前々例会修正出席率88.89% (最終欠席者5名)

#### □拠金委員会

### ◇ニコニコBOX

東郷(学)ニコニコBOX担当

シャンティ国際ボランティア会・萩原宏子様、平和フォーラムの講師ありがとうございます 奥村君、田崎君、東郷(庸)君、栗原(幸)君、東郷(学)君、家住君、霜村君、前原君、近藤君、坪井君、福島君 今日配布させて頂いた「にんげん」は2月15日、24周年になり25年目に入ります 船戸君  
 娘が医学部へ進学します。矢野じいじも大喜び! 野田君

### ◇ローター財団

江原拠金委員

平和フォーラム、アフガニスタンからありがとうございます。  
 頑張って萩原さん 江原君  
 萩原さん、宜しくお願ひします 坪井君  
 2月15日今日で「にんげん」新聞も24周年になり、25年目に入りました 船戸君  
 娘が医学部へ進学します。矢野じいじも大喜び! 野田君  
 春の足音が近づいて来ます 田崎君  
 すみません次例会欠席させていただきます 家住君

### ◇米山BOX

船戸拠金委員

萩原様、平和フォーラムありがとうございます 船戸君、田崎君  
 今日2月15日で「にんげん」紙も24周年、25年目に入りました 船戸君  
 娘が医学部へ進学します。矢野じいじも大喜び! 野田君



### 《次例会予告》

3月1日(金) フィリピン・マンダロンRC訪問報告

平和フォーラム



公益社団法人  
 シャンティ国際ボランティア会  
 海外事業部  
 アフガニスタン事業担当

萩原宏子様

「平和について」

先ず『平和』とは、そもそも何でしょうか？  
 私自身は、小学生の時、平和は「戦争の対義語」と教えて頂きました。また「暴力の不在」と説明する方もいらっしゃいます。平和学者の Johan Galtung さんは暴力を「直接的暴力」と「間接的／構造的暴力」の2つに定義されています。直接的暴力は人を殴る蹴る、或いは人を殺す等です。間接的／構造的暴力は、例えば、難民として生まれ、難民として生きて行かなければならないという事、貧困の為に学校できちんと教育を受けることすら出来ないという事、人は生まれる場所を選ぶ事は出来ないのだから本来あるはずの人生を生きられないという事、これは目に見えないけれど社会に内在された暴力と言えらると思います。この様な直接的暴力と間接的／構造的暴力がない社会が、究極の意味での平和であると、Johan Galtung さんは言っています。

ここで、シャンティ国際ボランティア会 (SVA) についてお話をさせていただきます。シャンティはサンスクリット語で『平和』という意味です。

- ★ SVA の理念 (ビジョン) : 私たちは「共に生き、共に学ぶ」ことができる平和(シャンティ)な社会の実現を目指します。
- ★ SVA の使命 (ミッション) : 私たちは、地球上の貧困や戦争、内紛、環境破壊、災害などによって苦しむ人々のそばに立ち、苦しみを分かち合い、その人々と共に解決のための活動を行います。特に、アジアにおける教育・文化活動を通じて「共に生き、共に学ぶ」ことができるシャンティ(平和)な社会の実現をはかります。
- ★ そして SVA では『平和な社会』とは、すべての民族と人間の尊厳が保たれ、国家や民族、宗教、言語、文化の違いを美しき多様性ととられ、違いを称え合い、争いは対話をもって解決される社会、と規定しています。

この様に、平和について色々な考え方があると思いますが、今申し上げた何れの意味に於いても、アフガニスタンは平和な国と言える事は出来ません。

アフガニスタンの現代の歴史、9・11の同時多発テロが起こる迄の歴史は、大きく3つに分けられます。

1979年に旧ソ連がアフガニスタンに侵攻しました。それに対し、ムジャヒディン(イスラム聖戦士という意味)が抵抗し戦争が起きました。その時、米国が大量の武器をムジャヒディン側に提供して、更に戦局を複雑にしました。その後、旧ソ連は1989年撤退しましたが、今度は祖国を守ろうと戦ったムジャヒディンが、軍閥となって勢力争いが起り内戦が悪化してしまいます。この、血で血を洗うような激しい内戦の中、隣国のイランやパキスタンに逃れた難民の方々は沢山います。我々のアフガニスタン副所長のワヒドもその1人でした。学校等の教育基盤も破壊されてしまいました。その中で、タリバンは急速に新勢力として国土の殆どを制圧しタリバン時代に入ります。ある意味では一時的に平和になったと言われてはいますが、その一方で女性への教育の禁止、不当な裁判での刑の執行等、厳しい支配が行われた時代でもありました。そして20

01年に9・11同時多発テロが発生します。その実行犯とされたアルカイダのオサマ・ビンラディンをタリバンがかくまっているとの事から、米軍・英軍を中心とした空爆が行われ、タリバン政権は崩壊しました。そして国際社会では、アフガニスタンの復興の機運が高まり、新憲法採択や大統領選挙なども行われました。しかし2006年以降南部でタリバンが支配力を強化し、治安が年々悪化していきます。この間、人々の視線はイラク戦争へ移っていたのです。

今アフガニスタンで起きているのは、他国籍軍の撤退で、2014年末迄には完全に治安権限の委譲を目指しています。そして同年には大統領選挙が予定されています。選挙前は治安が悪化しますので、選挙キャンペーンが行われる本年は大きな節目の年になるのではないかと言われています。

先程、2006年以降治安が悪化していると申し上げましたが、具体的には、女子教育に反対する反政府勢力が学校に脅迫状を送って教師や生徒が学校に行くのを脅かしたり、生徒の食事に毒物を混入する等が起きております。昨年12月に私がアフガニスタンに出張した時も、防弾車でホテルと事務所の往復しか出来ず、実際に自爆テロが発生し、一瞬氷付くような恐怖を体験しました。

同時に、人々の生活も厳しい状況にあります。正確な人口統計がないのですが、3千万人程度の人口に対し、5才迄に亡くなる子供は千人中257名と、幼い子供が生活する上では、最悪の国と言われています。1日1\$以下で生活している国民は42%です。教育の状況は、悪いとはいえ改善してきてはおります。2001~02年から10年間で、就学者数は7倍、学校数は2倍になっていますが、未だに純就学率は56%、校舎がある学校は50%で、半数は屋外や廊下で授業を強いられています。校舎は非常に重要で、アフガニスタンでは女子は一定の年齢になると廻りから見られるという事を非常に嫌いますので、就学上大きな支障になります。成人識字率は26%、この内女性識字率は12~3%と非常に悪く、普通の生活の中で大きな不利益を被っています。

SVA では、2003年からアフガニスタンで初等教育改善事業を行っています。具体的には『図書館活動』と『学校建設』で、これまでに30棟の学校建設を行いました。そして図書館活動は、学校に図書室を普及しようという活動です。これには3つの要素が必要となります。先ず図書活動を行うスペース、これは学校が提供します。次に、本棚や本の供与です。アフガニスタンには絵本や紙芝居は殆どありませんので、私達が現地の民話や創作を基に出版をしています。そして、アフガニスタンでは図書室は非常に新しいものなので、図書室の使い方を教える教員研修、この3つです。

識字率について先程お話ししました様に、4人に1人しか文字が読めません。識字率を改善するには、学校教育を普及することや識字教室を行う等、色々な方法があると思いますが、子供達が本を読む環境をつくることも非常に大事なことです。

「私の願いは、アフガニスタンの人々が皆、教育を受けられるようになることです。人々が教育を受ければ、アフガニスタンに平和が訪れると信じています。」これは SVA のスタッフの言葉です。そしてアフガニスタンの別のスタッフは「僕の好きな言葉は「平和」なんだけれど、僕が生まれてからアフガニスタンは平和になったことがないので、平和な世界がどんなものであるかわからない」と言いました。彼が平和なアフガニスタンを見るのは、まだまだ時間が掛かると思います。けれども未来に生きる子供達が平和なアフガニスタンを見られるように、私達は教育という分野でこれからも活動して行きたいと思えます。

皆様にも私達の活動を支えて頂けますよう、お願い致します。本日はご静聴ありがとうございました。